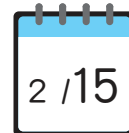


まちの話題



感染症対策を踏まえ 冬季避難所開設訓練 を実施

厳冬期およびコロナ禍における冬季避難所開設・運営訓練が、下音更中学校で行われました。この日は各避難所担当の町職員約30人が参加。朝5時40分に震度6弱の地震が発生し、避難所の開設が必要になった想定で訓練が行われました。講師の防災推進員と保健師からは、非接触型体温計を扱うときには身体には絶対触れないことや、防護服を着るときは二人一組で行うことなど、避難所における感染症対策について、説明を受けました。



高齢者との ふれあいを糧に 新たな一歩を

高齢者と若者のふれあい住宅に入居していた帯広大谷短期大学を卒業する7人に、町から記念品が贈られました。例年は、巣立つ学生を激励する目的でお別れ会を開催していましたが、今年はコロナ禍のため、短大の講堂で関係者のみが出席しての贈呈式となりました。小野町長は「高齢者とのふれあいから得た貴重な経験が、今後の人生に役立つときが必ずあるはずです」とはなむけの言葉を贈りました。





教育現場のための 新しいツールを学びました



町内小中学校の教職員を対象にGoogle for education 研修が役場会議室で開催され、4日間で17校から106人が参加しました。講師はノーディーエル株式会社(茨城県つくば市)の松本政昭さん。木野東小学校教頭の藤川淳さんは「研修を通して、今後の教育現場が大きく変わることが実感できました。大いに授業に役立てたい」と新しいツールへ期待を寄せていました。



ふわあっふわのホットケーキ おいしいなあ



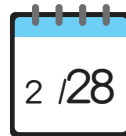
木野北保育園で、おやつ時間に株式会社山本忠信商店から町内19カ所の認可保育施設へ寄贈されたパンケーキミックスで作ったホットケーキの試食が行われました。3歳児クラスのリンゴ組では、ふっくらふわふわに出来上がったホットケーキに、たっぷりハチミツをかけて、みんな笑顔でお口いっぱい頬張っていました。



自然が作り上げた 美しさに感動



おとふけ写真クラブ(山西信一会長、会員13人)が図書館で第35回目となる写真展を開催し、町内や道内などで撮影された写真40作品が展示されました。山西会長は「自然を題材としたものやフクロウやリスなど動物のほか、古くからある歴史をテーマとした作品を展示しました。自然が作り上げた四季折々の優しさを感じて欲しいです」と話していました。



仲間と全力で試合に 臨みました



サンドームおとふけでおおさかスポーツ杯争奪全十勝中学校バレーボール大会が開かれ、男子4チーム、女子23チームが参加しました。大会は無観客で行われましたが、選手の迫力あるプレーに会場は熱気に満ちあふれていました。下音更中バレー部主将の朝日琉花さんは「粘り強いプレーをして優勝に向けて全力を尽くします」と力強く話していました。